

# 平成25年9月19日消防訓練の実施報告

## 1. 部分訓練について

訓練に先立ち、流山中央消防署の清水署長より「流山市は火災が年に35件と少ない地域ではあるが、火災原因の第一位は放火となっており、十分注意していただきたい」とご挨拶がありました。

訓練には教員35人が参加し、消火器、屋内消火栓、避難器具の使い方を習得し、学内の各種消防用設備等についての知識と技術の習得という目標を達成しました。



屋内消火栓訓練



消火器訓練



避難器具(救助袋)訓練

## 2. 総合訓練について

隈本委員長から訓練について説明をした後、学長からご挨拶をいただきました。総合訓練は火災時の自衛消防隊の対応行動を訓練するものです。教員と職員の混合チームを2班編成し、さらに各班の通報連絡班、初期消火班、避難誘導班、安全防護班、応急救護班にわかれて火災が起きたときの対応行動について打合せを行いました。訓練参加者は専任教員35人、専任職員27人、専門職員9人。

訓練は「授業期間中の平日12時頃、B棟7階の703教室から「火災が発生」した」ことを想定し、火災発見時の措置に始まり、通報連絡、消火活動、避難誘導、応急救護の訓練を行い、任務の基本を確認することができました。清水署長からは「大変よくできていた。ただ避難誘導は大きな声で、避難する方向を指し示しながら誘導する、火災時なので避難後の教室の窓やドアは延焼を防ぐために閉めるといった点を注意するように」などと講評をいただきました。



訓練想定打合せ会



学長挨拶



職員の班長が対応行動を説明



通報連絡班



初期消火班



避難誘導班



煙を吸わないように口を押え、姿勢を低くして避難する



歩行困難者の非難は避難者が協力し合う



意識不明者の救出